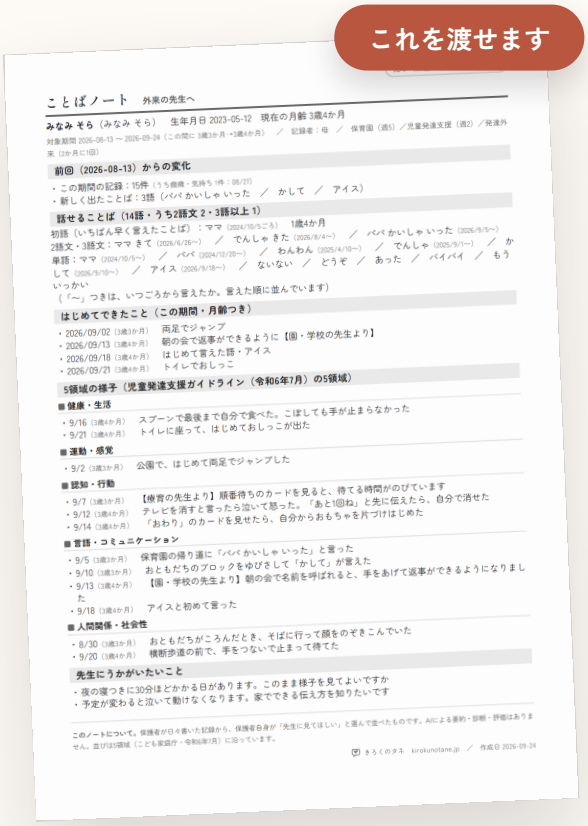
「発語は、どのくらいですか？」
診察が終わって、車に戻ってから気づく。

また、言えなかった。

気づいたときの<u>ひとこと</u>を残しておけば、
次の外来では、<u>この1枚</u>を先生に渡せます。



発達外来の医師が、
このノートをカルテに
保存しました。

書くのは、ひとことだけ。

「イヤだって言えた」「癇癪、30分」で十分。
声で話しても残せます。書き換えはしません。

発達障害の子を育てる母が、自分のために作りました。

催促の通知も、ほかの子との比較もありません。

書く → AIが5つの領域に仕分け → **外来・療育・計画の面談の前に、A4で印刷**

kirokunotane.jp

スマホのカメラで読みこむだけ

テスト版・正式リリースまで無料・カード登録なし。
何もしなければ、お金はかかりません。

正式リリース後は月額680円（税込・予定）。発達の診断や評価はしません。
記録は暗号化して保存し、退会すればすべて削除されます。

きろくのタネ

この用紙は、支援者の方のご判断で掲示・配布いただいているものです。
掲示・配布している施設と、きろくのタネとの間に契約や費用のやりとりはありません。